

# 精密測定技術(長さ測定編)

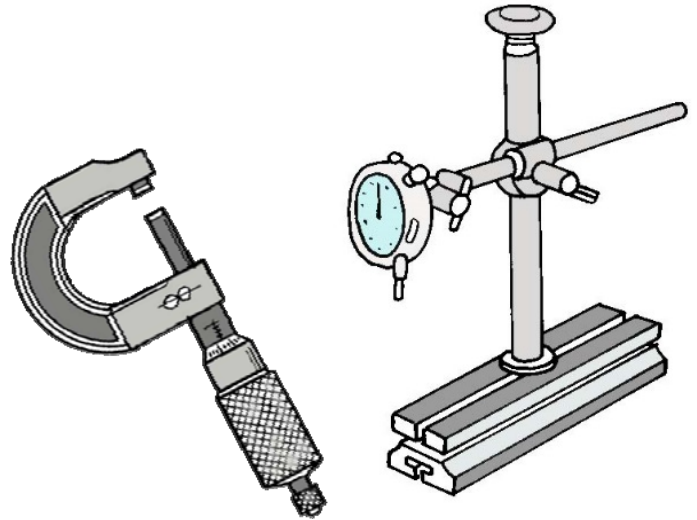
～ “ものづくり”を支える測定技術～

信頼性の高いものづくりには、高度な加工技術だけでなく、それを評価し保証するための正しい知識と正確な測定技術が不可欠であり、“モノをいかに正確に測るか?”は、生産技術、優れた品質の原点です。

本講座では、測定・検査作業における測定結果の信頼性・安定性の向上、生産部品における品質改善や生産性の向上を目指して、精密測定理論を活用し、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと測定方法、データ活用、誤差要因とその対処法などを習得します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## ◆◆◆◆開催概要◆◆◆◆

- 【日程】 9月7日(木)・8日(金) 2日間
- 【時間】 各日共 9:50～16:35
- 【場所】 近畿職業能力開発大学校  
〒596-0103 大阪府岸和田市岸の丘町3-1-1  
電話:072-489-2114(援助計画課)
- 【講師】 近畿職業能力開発大学校講師
- 【対象】 製造部門・生産技術部門(機械加工系)や  
測定・検査作業に従事する若手技術者
- 【定員】 10名
- 【受講料】 8,000円/名
- 【主催】 (公財)堺市産業振興センター
- 【共催】 近畿職業能力開発大学校



## ◆◆◆◆カリキュラム◆◆◆◆

- 1.測定的重要性
  - (1)測定と計測について
    - ①計測と測定 ②測定におけるトレーサビリティ ③測定と検査
    - ④測定データにおける不確かさ
  - (2)測定的重要性
    - ①検査と評価
- 2.測定実習
  - (1)測定誤差の原因と対策
    - ①測定環境 ②寸法測定の誤差要因 ③各要因に対する対策方法
  - (2)測定器の精度と特性
    - ①長さ基準とは ②測定器の信頼性 ③測定器の選択
  - (3)マイクロメータ、デジタルマイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ、  
てこ式ダイヤルゲージでの測定
    - ①構造、取扱い、調整 ②量子化誤差、器差、アッペの原理など
    - ③熱的影響による誤差の測定、断熱効果のある測定器
    - ④ブロックゲージの取扱い
- 3.定期検査・校正
  - (1)定期検査・校正方法と検査用工具
    - ①マイクロメータの検査と校正 ②ノギスの校正 ③ダイヤルゲージの検査と校正

### 【申込方法】

下記の参加申込書に必要事項を記入し、FAXでお送りください。申込受付後、受講料振込用紙をお送り致しますので、記載の期日までにお振込みください。  
※欠席の場合、受講料は返金できませんので、代理の方を派遣ください。開催日までに参加証をお送り致します。

### 【お申込み・お問合せ先】

(公財)堺市産業振興センター 担当:安積・小松  
〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町183-5  
電話 072-255-6700 FAX 072-255-1185  
URL <http://www.sakai-ipc.jp>

(公財)堺市産業振興センター 行

FAX 072-255-1185

平成29年度テクノ・オープン・カレッジ「精密測定技術(長さ測定編)」参加申込書

会社名			創業5年未満の場合は右欄に ○をご記入下さい	
住所		電話	FAX	
参加者氏名	部署	役職	生年月日(西暦)	主な仕事内容/勤続年数
(フリガナ)				/ 年
(フリガナ)				/ 年
本件の担当者氏名 (フリガナ)	部署・役職		連絡先電話番号	

※本セミナーは、堺市の創業支援事業計画に位置づけられた認定創業支援事業(人材育成)にあたります。詳細は、堺市ものづくり支援課までお問合せください。(Tel 072-228-7534 事業紹介URL <http://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/shienyuushi/oshirase/sougyoushien/sougyoshienkeikaku.html>)  
※お申込みにていただいた個人情報は、当セミナーへのお申込みの確認及び当センターが行うセミナー等のご案内に利用させていただく場合がございます。